

組織風土から見直す「コンプライアンス研修」のご紹介

～昨今の事例から読み解く、組織風土から見たコンプライアンス研修のありかた～

日時

3月6日(水) 13:30～17:00
※セミナー受付は30分前からとなります。

会場

一般社団法人日本経営協会 関西本部内 セミナールーム
(大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル)

料金

無料 ※ご参加は1社2名様までに限らせていただきます。

対象

社内教育、コンプライアンス担当の
人事・総務・教育・経営企画部等の方々

定員

40名(最少催行人数:10名)
※申込締切:2019年3月1日(金)

主催

 一般社団法人 日本経営協会

(注) 本セミナーは、社内教育、コンプライアンス担当、人事・総務・教育部門等の方々向けのPRセミナーです。
研修内容のご紹介が中心となります。また、教育研修機関からのご参加はご遠慮頂いております。

開催にあたって

ここ数年、企業不正のニュースが後を絶ちません。いったん不正が明るみに出してしまうと、記者会見等の初動対応、終わりの見えない顧客対応、さらに社会的な信頼回復に向けて長期にわたり対応を求められます。その経済的・人的・社会的損失は計り知れず、**最悪の場合、経営が維持できなくなってしまうこともあり得ます。**

「不正」は問題の「氷山の一角」でしかなく、その裏に莫大な長期的リスクを内包しています。そしてそれが個人の問題であればまだ対処できますが、**いったん組織的な不正に発展してしまうと、ほとんどの場合、内部の自浄作用だけでは止めることができません。**そうして膨れ上がった不正の澱みは、いずれあふれる時を迎えます。

もちろんこれまでも、不正が起こらない組織づくりのために「コンプライアンス」が叫ばれ、その浸透策が図られてきました。しかし「**定期的に研修を実施している**」というステータスを得ることが目的になって、**散発的に実施している状態**に陥ってはいないでしょうか。もしそうであれば、実効性のある対策が打てているとは言えません。

そこで今回は、大手企業の危機管理・対応研修や、様々な切り口でコンプライアンスの講演・研修に登壇し好評を得ている大谷 邦郎 氏をお招きし、最新の事例を交えつつ「**組織風土×コンプライアンス**」をテーマに、研修の一部をご紹介します。貴組織の「コンプライアンス研修」を見直す良い機会になれば幸いです。ご参加お待ちしております。

登壇講師

大谷 邦郎(おおたに くにお)

グッドニュース情報発信塾 塾長

神戸大学法学部卒。

1984年に株式会社毎日放送入社。

40歳代半ばまでは大半を「記者」として過ごす。

その後、「ラジオ報道部長」、「宣伝部長」、

「人事局キャリア推進部長」を歴任。

取材する側、される側をともに経験したことにより、情報発信に関する独自のノウハウを蓄積することに。

また、人事局キャリア推進部においては、様々な研修を手掛けそのスキルを磨くことになる。

2016年10月末、毎日放送を早期退職・独立して現在に至る。

・追手門学院大学「笑学研究所」客員研究員

・NPO法人DDAC(発達障害をもつ大人の会) 監事

主な著書として

「関西“唯”の人～仕事を楽しむ人の図鑑～」

「風のHEROES～車椅子ダンスの軌跡～」

「発達凸凹活用マニュアル」

「なんでもない日はとくべつな日」等がある。



会場のご案内

〒550-0004

大阪市西区靱本町1-8-4
大阪科学技術センタービル内



■大阪方面よりお越しの場合

・地下鉄四ツ橋線「本町」駅下車
28号出口より北へ徒歩3分

■新大阪方面よりお越しの場合

・地下鉄御堂筋線「本町」駅下車
2号出口より西へ徒歩7分

■なんば方面よりお越しの場合

・地下鉄四ツ橋線「本町」駅下車
28号出口より北へ徒歩3分

・地下鉄御堂筋線「本町」駅下車
2号出口より西へ徒歩7分

申込方法

Web(www.noma-front.com/shop/seminar/seminardetail.aspx?seminar=60012353)の申込みフォームよりお申し込みいただくか、裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ郵送又はFAXにてお申込みください。追って、参加券をお送りいたします。

※参加者が少人数の場合、中止もしくは延期させていただく場合がございます。

お申込・お問合せ先

一般社団法人 日本経営協会 関西本部 経営開発G
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階

TEL 06-6443-6963 FAX 06-6441-4319
URL <https://www.noma-kansai.jp/>

3月6日(水) 13:30~17:00

13:30

■はじめに：最近の事例から考える、組織風土と「不正」の問題

- (1)最近の事例を振り返り、その特徴を考える
- (2)組織風土に注目するワケ
- (3)あの不正はどうすれば防げたのか？
- (4)「組織的な不正」はどのようにして生まれるのか？

■「コンプライアンス研修」を組織風土の観点から見る

- (1)「名ばかりコンプライアンス」に陥らないために
- (2)そもそも、組織風土を作るのはダレ？
- (3)組織風土が組織の何に影響している？
- (4)「コンプライアンス研修」を組織風土のメンテナンスに活かす

■研修内容の体験

- (1)グループディスカッション：
 - ・あなたが「あの大学」の広報担当者だったら、どう対応していたか？
- (2)ワーク：自社の「組織風土」をチェックしてみよう！
- (3)ワーク：「アサーション」をご存知ですか？
 - ・自己主張が苦手な人向けコミュニケーション手法
- (4)ワーク：職場を明るくする様々なコミュニケーション術を体感
 - ・相手をちゃんと褒めることができますか？
 - ・ノンバーバルコミュニケーションとは？ 等

■さいごに：不正は明日にも明るみになるかもしれない

- (1)平時の対応を万全に！
- (2)もし危機が発生してしまったら？
- (3)危機対応力もその後の影響を左右する！

17:00

※適宜休憩時間を確保いたします。
 ※本セミナーの内容について、個別ご訪問の上、ご説明も可能です。お気軽にお申し付けください。

一般社団法人 日本経営協会 関西本部 経営開発G(山中)行 FAX 06-6441-4319

組織風土から見直す「コンプライアンス研修」のご紹介《参加申込書》

2019.03.06

会社名 団体名	TEL () — FAX () —
所在地	
参加者氏名	所属・役職
(フリガナ)	
(フリガナ)	

※参加申込書にご記入いただいた情報は、下記の目的に使用させていただきます。
 ①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなどの本会事業のご案内
 なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。 — □不要